

シンポジウム

ハケンとセイキの均等待遇

賃金破壊へのインパクト!?

●内容●

《報告》

村上陽子（連合総合労働局長）派遣法改正と連合の取り組み

沼田雅之（法政大学）改正法の同一労働同一賃金と理論・実務上の課題

榊原嘉明（名古屋経済大学）ドイツにおける派遣労働者の均等・均衡待遇

浜村 彰（法政大学）フランスにおける派遣労働者の均等・均衡待遇

《パネル討論》

コーディネーター 中野麻美（弁護士・派遣労働ネットワーク）

沼田雅之／榊原嘉明／浜村彰／毛塚勝利（労働法学者）

日時：2019年7月6日（土）

午後1時30分～4時30分

場所：連合会館201号会議室

（住所 東京都千代田区神田駿河台3-2-11）

＜会場アクセス＞

東京メトロ千代田線「新御茶ノ水駅」 B3出口（徒歩0分）

東京メトロ丸ノ内線「淡路町駅」 B3出口 ※（B3出口まで徒歩5分）

都営地下鉄新宿線「小川町駅」 B3出口 ※（B3出口まで徒歩3分）

JR中央線・総武線「御茶ノ水駅」 聖橋口（徒歩5分）

資料代：500円



主催：労務供給の多様化研究会、NPO法人・派遣労働ネットワーク
※問い合わせ：03-5354-6251（派遣労働ネットワーク）